## 平成 25 年度事業計画書 平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人遠野まごころネット

### 1 事業実施の方針

遠野まごころネットは、設立の趣旨である「被災地復興支援」と「風土を生かした地域つくり」 を掲げ、被災者の見守り、寄り添い活動、地域コミュニティづくりサポート等事業を今後も継続 していきます。

この震災の風化を防ぎ、今後の減災や迅速な復興のため、復興支援マニュアルの整備、復興支援団体のネットワーク化、情報発信等を行うと同時に、風土を生かした地域づくりを推進するために各種の企画やイベント等も展開して行きたいと思います。

現在は被災地でのガレキ撤去のような事業が減少し、新たな段階を迎えています、前年度の成果も踏まえ、人材の活用や地域資源を有効に活かし、被災地での雇用の場を確保する起業や被災者の雇用にシフトしていく必要があります。

具体的には、助け合いセンターの運営、障害福祉サービス事業、6次産業化事業を導入した餃子工場の立ち上げなども行っていきます。

また、自然に目を向けた観光の掘り起し、自然エネルギーの活用する事業にも取り組んでいきます。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事 業 内 容	時期	場所地域	従業者数	対象範囲 予定人数	支出見 込額 (千円)
被災者支援	被災地、被災者への復興支援活動の企画立案およ	通	岩手県及	12		55,000
のための情	び遂行	年	び三陸沿		岩手県沿岸被災地	
報収集、発	(インターネット等による情報提供・交流、ボラ		岸被災地		の各市町の被災者	
信、対個人、	ンティア派遣、支援物資運搬、産業再生・復興企				(不特定多数)	
対社会支援、	画立案とアドバイザー等 他)					
基金創設事						
業	総合相談支援事業					30,000
	自殺予防や被災者のメンタル・ケア、遠野市の自					
	然資源を活かしたプログラムの企画立案および					
	遂行					
	助け合いセンターの運営					
支援活動の	支援活動から得られるノウハウの蓄積ならびに					2,000
ノウハウを	今後の自然災害時の支援活動に活かせるマニュ					
蓄積し、自然	アル策定					
災害時に生						
かすマニュ						
アル作成事						
業						

支援団体間	被災者、支援者間の交流促進及び支援者同士の連			3		10,000
の交流連携	携を図るネットワークづくり(まごころネットワ					
のためのネ	<b>ー</b> ク)					
ットワーク						
構築事業						
自然資源調	アウトドア・ワールド事業	通	遠野市	2	広域	1,950
査・活用事業	遠野市の自然資源を調査し、観光その他に活かせ	年				
	るプログラムの企画立案および遂行					
	遠野の風土と観光を考える会事業	通	遠野市他	2		5, 000
	観光産業の振興も視野に入れた遠野市の自然資	年	周辺地域			
	源の維持・保全の推進(自然エネルギーの活用)					
指定障害福	障害福祉サービス事業所の運営	通	釜石市・大	6	釜石市・大槌町・	20, 000
祉サービス		年	槌町・遠野		陸前高田市	
事 業			市			
介護保険	介護保険事業のうちディサービス事業の運営	通	釜石市•大	2	釜石市・大槌町	2, 700
事 業		年	槌町			
無料及び有	無料(有料)職業紹介事業の運営	通	釜石市•大	2	釜石市・大槌町	5, 000
料職業紹介		年	槌町			
事 業						
農林水産物	6次産業化事業の導入と餃子工場の開設	通	大槌町	5	釜石市・大槌町・	25, 000
の生産加工	運営(農園管理、餃子工房等)	年			陸前高田市	
および販売						
事 業						
一般及び貨	被災地の仮設住宅等に住む高齢者等の買い物支	通	釜石市、大	3	釜石市、大槌町	6, 000
物軽自動車	援	年	槌町		遠野市	
運送事業	のための運送業運営		遠野市			
被災地支援	復興支援Tシャツ、タオル等販売	通	事務所	1	広域	8, 950
物 品		年				
販売事業						
旅行業法に	観光客の増員をはかる。	通	岩手県沿	2	岩手県沿岸各市町	5, 000
基づく旅行	被災地で「語り部」を養成、復興支援ツアー等を	年	岸被災地		及び全国各都市	
事業	企画し、風化防止に努める。		等			
					支出見込金額	176,600
					(千円)	

# (2) その他の事業

今年度予定なし